

## —今週の誕生者—

## —集 会 状 況—

	男	女	計
主 日 礼 拜	10/18	20	64 84
教 会 学 校	10/18	11	28 39
成 人 科	10/18	1	2 3
野村港南台集会	10/21	1	7 8
入 門 講 座 I	10/22	1	5 6

## —牧 師 室 よ り—

ルカ福音書を学び終えた。赴任以来、マルコ福音書、ローマ書、ヨハネ福音書、創世記、そしてルカ福音書の講解説教をしてきた。聖書は二千年前、旧約はそれを数百年さかのぼる時代に書かれたものである。この古代文書が現代人の心をとらえて離さない。なぜで

あろうか。

私は高校生の時、始めて聖書を手にして読んだ。従って聖書を間違いのない「神の言葉」とする権威主義的な読み方ではなく、一つの「本」として読んだ。仏教的な宗教観しか知らなかった私は、聖書に人間と歴史を超越する神観を見て目を見張った。空しく思えた人生に意味があると示された。そしてイエス・キリストのとらわれない、凄じい愛に魅せられた。自分を捨てた本当の愛があると喜んだ。洗礼を受けてクリスチャンになり、聖書の説き明かしを職業とする牧師になった。私にとって聖書は、文字通り人生を決定づけた「本」である。

聖書は、これを記した記者たちがそれぞれの置かれた時代の「場」の中で、血を吐くようにして表わした信仰告白と言えよう。現代から見ると、不適切も多々ある。聖書記者たちにできるだけ近づき、彼らの信仰告白を彼らの意図に添って聞く。その時、時代を越えて私が「人間になる」福音に与られると信じている。

# 週 報

1992年10月25日 降誕前第9主日

卷 13 30号

1992年度教会主題

「復活の主を見る」

聖 句 すると、二人の目が開け、イエスだと分かったが、その姿は見えなくなった。二人は、「道で話しておられるとき、また聖書を説明してくださったとき、わたしたちの心は燃えていたではないか」と語り合った。

ルカによる福音書 24章31節～32節

- 目 標
1. 生活を整えて礼拝、諸集会を守る。
  2. 交わりを深めつつ、教会の新しい方向を求める

日本キリスト教団

## 横浜港南台教会

〒233 横浜市港南区港南台 7丁目-8-29

電話 045-833-5323、045-833-6611

振替 横浜 9-13994

牧 師 秋 吉 隆 雄